

Solan Primary School
4th grade news letter

Venture Fourth

2023 May 18

不便益のアイデア大募集



前号で取り上げた「不便益」という言葉。

英語で表現すると不便の益 (benefit of inconvenience) となります。

この言葉を見ると、不便で良かった事や、不便じゃなくちゃダメなことが、色々見えてきます。

キャンプ場でバーベキューをしたいなあと考えた時。

運営している方が、肉や野菜を全て切り、薪も割って火も起こして、調理済みのバーベキュープレートのようなものが用意されていたとしたら、多くの人はこう思うはずで

「それじゃ意味ないじゃん」と。

色んな人と力を合わせて、火を起こしたり、材料を切ったり、その不便さをむしろ楽しみに行っているのに、何をしてくれているんだという話になるでしょう。

他にも、富士山の頂上に登るのは大変だろうと、富士山の頂上までエレベーターを作ったとします。

これは、よけいなお世話というより、もはや山登りの本来の意味がなくなってしまいます。

ヒットを打てるように練習するのは大変だろうと、だれでも必ずヒットの打てるバットを作ったらどうでしょう。

これも同じで、野球のだいご味や面白さが失われてしまいます。

一流のプロと呼ばれる人たちだって、5割以上の打率が残せないくらい「難しい」からこそ、世界中の人たちがこのスポーツに熱中しています。

私が子供の頃、遠足のおやつは250円以内と決まっていた。

これがもし、自由に好きなだけおやつを持ってきても良かったとしたら。

スーパーをうろうろしながら長時間頭を使ってベストな組み合わせを考えたあの「ワクワク感」は損なわれてしまうでしょう。

「250円でこんなに買ったの!?!」「あー確かにそれ買えばよかった!」と、翌日答え合わせのように友達とお菓子を見合ったのも楽しい思い出です。

便利さとは、得てして「手間がかからず、頭を使わなくても良い状態」を目指すものです。

確かに少ない労力で効率よく物事が進められるのは楽かもしれませんが、恐らくその道中では色んな価値がふるい落とされていたりするのでしょう。

加速度的に「便利さ」が追求される現代において、不便益の価値を見つめなおしたり、あえてスローダウンして生活してみることの良さを子どもたちに伝えていくことは、極めて大切な教育場面であると思っています。

そんな生活のアイデアを実践している方がいたら、ぜひ気軽に投稿してもらえたら嬉しいです。

<https://docs.google.com/forms/d/1c9f4cPLcipcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

ちなみに私は毎日、片道3kmほどの道のりを歩いて通勤しています。

荷物は小さなショルダーバッグが1つ。

最近では手ぶらで通勤することも増えました。

かかる時間は30分ほどです。

知人からは、

「なぜ車を使わないんですか？」

「時間がもったいないでしょう。」

なんていわれることも少なくありません。

しかし、私にとってはこの30分間は、自分の心の状態を整える上で極めて大切な時間です。

季節の移ろいを感じたり、

鳥や草花を何気なく観察したり、

吹き抜ける風に心地よさに癒されたり、

今日も元気に働けることに感謝の気持ちが湧いたり…。

いわば「心のチューニング」ともいえる時間です。

この朝夕の豊かな時間があることで、心を良い状態に保つことができ、日々勇んで仕事に取り組むことができると感じています。

これを続けておよそ5年になります。

札幌にいた頃も、季節を問わずに続けていたので、冬には中々大変なシーンにも確かに遭遇しました。

家を出る時はチラチラと可愛らしく降っていた雪が、ものの数分で吹雪に豹変したこともあります。

でも、不思議なのは、こうした厳しい天気の時にも心が上向くのです。

厳しい寒さや吹きすさぶ風に耐えながら、それでも元気に足が動きます。

頭の中では、今日授業をこんな風にしようというアイディアも湧いてきます。

何より、今日も生きているなあとじんわりと感謝が湧いてきます。

最近の愛知県は中々暑くなってきたので、昨日も他の学年の先生から

「まだ歩いているんですか!？」

と尋ねられたほどです。

もちろん、暑かったり寒かったりしたら歩かないのではなく、そもそも好きでその価値を腹の底から感じているから歩くのです。

また、ルートも日によっていろいろ変えています。

あえて思い切り遠回りをして新しいルートを探索することも少なくありません。

すると、面白い出会いや発見が生まれたりするので。

今朝も、歩いている最中に色んな方から声をかけてもらいました。

毎日歩いていると、街のことがよく分かっていきますし、顔見知りも増えていきます。

こんな風にして、学校以外で知り合いになって気軽に話すようになった方々がこの1年間で30人ほどできました。

休日に山登りに誘ってくれる方がいれば、実家から届いた新茶をおすそ分けしてくれるような方もいます。

車でブーンと行けば5分くらいでつく距離ですが、それを30分かけて歩いた中で、色んなギフトが舞い込むようにもなりました。

不利益を楽しむような生活のアイデアや知恵、もしよければ気軽に投稿して教えてください。

きっと子供たちにとっても、豊かな学びのきっかけとなるはずです。

☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcipcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

